

令和9年度鳥取県公立学校臨時的任用教職員等希望調書

【注意事項】※記入された内容をもとに、書類等による選考を行います。以下の注意事項に従って漏れなく記入してください。

- 記載事項がない場合は斜線を引くこと。職歴欄等が不足の場合は貼付又は別紙として提出すること。
- メールアドレスは、学校設置者等及び民間教育保育等事業者による児童対象性暴力等の防止等のための措置に関する法律に基づく特定性犯罪歴の確認に使用するため、使用可能なメールアドレスを記入すること。
- 現住所が帰省先と異なる場合は、連絡先に帰省先の住所等を記入すること。
- 「指導可能な部活動」欄は、中学校の常勤講師、高等学校の常勤講師又は実習助手を希望する者のみ記入すること。
- 「資格・特技」欄には、教科指導、特別活動指導及び部活動指導で活かしたい資格・特技又は大会成績を記入すること。
また、国際パカロレア機構が主催するワークショップに参加し、IB（国際バカロレア）教員として認定されている者は、「IB教員」として記入すること。
- 「健康状態」欄には、勤務に支障のない場合は、「良好」と記入すること。

(フリガナ)	()	性別		生年月日	□ S □ H	年 月 日	撮影日 令和 年 月 日
氏名		年齢				歳 (令和9年4月1日現在)	※写真を貼る位置 1 縦 4cm程度 横 3cm程度 2 上半身・無帽 3 1年以内に撮影したもの
現住所・電話番号	〒	—		TEL	()		
メールアドレス				@			
連絡先(家族の住所等)	〒	—		TEL	()		

希望勤務地	<input type="checkbox"/> 東部 ()	<input type="checkbox"/> 中部 ()	<input type="checkbox"/> 西部 ()	
自家用車通勤	<input type="checkbox"/> 可	<input type="checkbox"/> 否	運転免許取得年月日	□ S □ H □ R . .
	第1希望	第2希望	第3希望	
希望校種等				
希望職種				
教科(科目等)				

※「希望勤務地」欄は、希望する地区に☑してください。複数希望する場合は()内に希望順位を数字で記載してください。
 ※「自家用車通勤」欄は、該当する方に☑してください。
 ※「希望校種等」欄は、「小学校」、「中学校」、「特別支援学校」、「高等学校」のいずれかを記載してください。
 ※「希望職種」欄は「常勤講師」、「会計年度任用職員(非常勤講師)」、「養護助教諭」、「実習助手」、「寄宿舎指導員」、「介助職員」のいずれかを記載してください。
 ※「教科(科目等)」欄は「希望校種等」欄に「小学校」、「特別支援学校」を記載する者、又は「希望職種」欄に「養護助教諭」、「実習助手」、「寄宿舎指導員」、「介助職員」を記載する者は記載不要です。

種別	教科名	取得(取得見込)年月日	区分
所有する教員免許状		□ S □ H □ R . .	<input type="checkbox"/> 取得 <input type="checkbox"/> 取得見込
※臨時免許状を含む		□ S □ H □ R . .	<input type="checkbox"/> 取得 <input type="checkbox"/> 取得見込
		□ S □ H □ R . .	<input type="checkbox"/> 取得 <input type="checkbox"/> 取得見込
		□ S □ H □ R . .	<input type="checkbox"/> 取得 <input type="checkbox"/> 取得見込

令和4年7月施行の教育職員免許法の改正以前有効期限
 平成 年 月 日
 令和 年 月 日

※旧免許状所有者かつ、有効期限が令和4年6月30日以前の方は、裏面の職歴欄は、上記の期限をまたぐ職歴を必ず記載してください。上記の期限の時点で無職である場合は、その旨を職歴に記載してください。
 ※旧免許状所有者かつ、有効期限が切れた時点で免許職以外の職にあった方は、任用が決定した際に、有効期限が切れた時点の勤務先の在職証明書の提出が必要となります。

臨時的任用教職員等を希望する動機又は抱負	
教育活動等を通じて、どのような児童・生徒を育成したいか	
児童生徒を指導・支援等をする上で、最も大切にしたいこと	
指導可能な部活動	資格・特技
健康状態	配慮事項

令和9年度鳥取県公立学校 臨時的任用教職員等希望調書 (裏面)	(フリガナ)	()	生年月日	□ S □ H 年 月 日
	氏名		年 齡	歳 (令和9年4月1日現在)

学歴	学校名	学部・学科・専攻名	在学等期間	卒業・修了・ 中退・各見込
	高等学校等		年 月 ~ 年 月	
	専攻科等		~	
	予備校等		~	
	大学・短大等		~	
	大学院		~	
	自宅・留学等		~	

※高等学校入学以後（自宅も含む）について漏れなく記載してください。
 ※高等学校等の「学校名」欄は、○立○から記載してください。（例）鳥取県立○高等学校
 ※高等学校卒業程度認定試験の場合は「学校名」欄にその旨を記載し、「在学等期間」欄に資格取得年月日を記載してください。「卒業・修了・中退・各見込」欄は記載不要です。
 ※「卒業・修了・中退・各見込」欄には、「卒業」・「卒業見込」・「修了」・「修了見込」・「中退」・「その他」のいずれかを記載してください。

職歴	期 間 (年 月 日)	勤 務 先	職 名 (勤務形態)	発 令 庁 ・ 雇 用 主
	(例) R8.4.1 ~ R9.3.31	○立○小学校	講師 (常勤)	○教育委員会
	(例) R7.10.1 ~ R8.3.31	自宅	無職	
	(例) R4.4.1 ~ R7.9.30	○立○小学校	講師 (非常勤、週○時間)	○教育委員会
	~			
	~			
	~			
	~			
	~			
	~			
	~			
	~			
	~			
	~			
	~			
	~			

※新しい職歴から順に、民間企業や他県勤務歴も含めて漏れなく記載してください。欄不足の場合は用紙をコピー又は別紙にて記載してください。
 ※無職の期間も記載してください。その場合、勤務先は「自宅」、職名（勤務形態）は「無職」としてください。なお、1日あけの発令（例：3/31のみ無職）等による「自宅」期間の記入は不要です。
 ※「職名（勤務形態）」欄には、職名とともに勤務形態（正職員、常勤、非常勤等）を記載してください。非常勤、パートの場合は週あたり勤務時間を記載してください。
 ※期間更新等の発令により、同じ勤務先、同じ職名（勤務形態）の場合、同一発令として1行にまとめて記入し、発令により、異なる勤務先、職名（勤務形態）の場合は、発令ごとに1行に記入してください。
 ※令和9年4月1日時点で60歳を超える者は、簡潔に記入していただいて構いません。（例）教員だった方：「期間」欄に、教員として勤務されていた全期間、「勤務先」欄に【○立○小学校】、「職名」欄に【小学校教諭】等と、まとめて記載してください。（学校ごとに分けて記載いただく必要はありません。）

刑罰・処分歴	賞罰の有無	年月日	刑罰・処分の内容
	<input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 ※必ずどちらかに☑してください。		

※罰金刑以上の刑に処せられたこと又は懲戒処分若しくは分限処分を受けたことの有無についてどちらかに☑し、「有」の場合は、判決確定年月日等又は処分年月日とその内容を記入してください。

この調書の記載事項は事実に相違ありません。また、学校教育法第9条及び地方公務員法第16条の欠格条項に該当しません。

令和 年 月 日 (記載日)

氏 名

※記載事項に虚偽の内容が認められた場合や欠格条項に該当していた場合、また刑罰・処分歴欄に記載されている内容等によっては任用できない場合があります。